

2014年度 クロード ドゥラングル客員教授 サクソフーン特別講義

1. 日 時 : 2014年 10月 28日(月)13時30分～16時45分
2. 場 所 : O号館 101教室
3. 対象学生【必修】 : 大学院・大学専攻科・大学・短大専攻科・短大
サクソフーン専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : クロード ドゥラングル 客員教授 Claude DELANGLE

大阪音楽大学客員教授。

パリ国立高等音楽院で学び、サクソフーンと室内楽の両方で1等賞を受賞。以来クラシックと現代音楽の両分野での世界的なサクソフーンの名匠との評判をうち立て、現代曲においてはサクソフーンに対する認識を広めることに貢献している。昨シーズンはM.ジャレルの『復活』とB.ジョラスの『セカンド・コンチェルト』の初演を行い、F.マルタンの『バラード』の日本初演を行なった。L.ベリオの『レシ』も初演し、リスボンのGulbenkian財団とSchleswig-Holsteinフェスティバルでも演奏している。ドゥラングルとベリオはたびたび共同で活動しており、ヨーロッパ、アメリカ中を演奏旅行している。ストラズブル・ミュージック・フェスティバルからは、タンゴに触発された曲でアルゼンチンの10人の作曲家が書いた「Tango Futur」の初演を行うよう招待を受けた。また、1986年にピエール・ブーレーズが初めて招待して以来、アンサンブル・アンテルコンタンポランと共演している。フランス国立管弦楽団など数々の管弦楽団と共演し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団には1992年以来招かれている。1988年からパリ国立高等音楽院で教鞭を執っており、世界各地でマスタークラスを開催している。さらにフランスサクソフーン協会、国際サクソフーン委員会の会長を務めている。

5. 講 義 概 要 : 公開形式によるレッスン

小山 麻奈 (大3) クレストン : コンチェルト第2・3楽章

菊一 圭大 (大4) ロベール : カデンツ

西川 静 (院1) デサンクロ : プレリユード、カデンツァとフィナーレ

藤田 麻緒 (院1) ドビュッシー : ラプソディ